



野菜直売所「みちくさ」オープン

地元産の新鮮・安心野菜を販売



▲みちくさ店内

草野生産組合が建設を進めていた野菜直売所「みちくさ」がこのほど完成し、4月22日に現地で開所式が行われました。「みちくさ」は草野字大谷地地内の県道原町川俣線沿いに位置しており、村のベンチャー企業創出支援事業の助成を受けて作られました。「みちくさ」店内には地元住民が栽培し

た季節の野菜や加工品、工芸品が販売されており、また、店内の壁には生産者の写真が貼られるなど、消費者が安心して買い物ができるような工夫もされています。

この日の開所式では、草野生産組合の本田八郎代表からあいさつがされ、たほか、菅野村長、大内政洋相双農林事務所農業普及部長、松下義喜草野行政区長らが祝辞をのべ、開所を祝いました。

開所後間もなく、

「みちくさ」を見つけた県道を走るドライバーが立ち寄り、早速野菜を買い求める光景も見られました。

関係者らは、今後は有機農法、無農薬野菜を目玉に、消費者が安心して買える質の高いものを販売していきたいと今後の販売方針について話していました。

入学・入園式で啓発活動

新入生に交通安全呼びかけ

4月7日、8日、村内の3つの小学校と2つの幼稚園の入学、入園式当日、交通安全関係団体による交通安全啓発活動が行われました。



▲活動のようす「事故に気をつけてね」

新入学(園)児童・園児の交通事故防止運動の一環として行われたこの活動では、それぞれの学校・幼稚園の校門前に集まった関係者らが、交通安全を呼びかけるのぼり旗をたて、入学式に出席するために集まった子供たちとその保護者にチラシや反射材、ティッシュなどを配って、交通

安全を直接呼びかけました。5月11日からは春の交通安全運動が始まることから、交通安全関係団体では、住民に対しより一層の交通事故防止に対する呼びかけを行っていく予定とのことです。